

2030年までの未来戦略を学ぶ3時間

講座内容詳細は中面をご覧ください!

第1講座	<h3>令和8年度公共事業時流予測</h3> <p>元国土交通省出身の那須基氏より令和8年度の公共インフラ事業の予算の方向性やインフラ老朽化対策、官民連携の取り組み等を解説。</p> <p>元国土交通省 室長 那須 基氏</p> 
第2講座	<h3>公共事業時流予測を経営戦略に落とし込む方法</h3> <p>公共事業を取り巻く制度や予算の変化を正しく読み解き、自社の受注戦略や人材・技術投資にどう反映させるかを解説。時流を“知る”だけで終わらず、“勝てる経営戦略”へ落とし込む実践的な内容です。</p> <p>株式会社船井総合研究所 チーフコンサルタント 松村 健人</p> 
第3講座	<h3>まとめ講座</h3> <p>本セミナーのまとめ</p> <p>株式会社船井総合研究所 マネージング・ディレクター 中嶋 翔一</p> 

公共インフラ業界向け

公共インフラ事業

時流予測

令和8年度

- ☑ どうなる!? 今後のインフラ老朽化問題
- ☑ 公共インフラ財政はどこへ 予算編成の行方を読み解く
- ☑ 中小企業が今取り組むべき ICT活用とは
- ☑ 「官民連携」(PFI/PPP)で加速する インフラ整備。最新事例を公開
- ☑ 地方建設会社に“群マネ”の ビッグウェーブ到来
- ☑ 近年の道路陥没事案による 今後の国の動向は

那須 基氏 (元国土交通省 室長)

北海道大学大学院修了後、1991年に建設省へ入省。以降30年以上にわたり、国土交通省・環境省・厚生省・自治体などで下水道行政の政策立案から災害対応まで一貫して担当。政策×技術×現場のすべてを経験しており、「行政目線と現場目線をつなげて語る稀有な専門家」として全国で高い評価を集めている。



開催日時 **2026年 4月9日 木 14:00~17:00** (受付開始:開始時間30分前~)

会場 **株式会社船井総合研究所船井総研グループ 東京本社 サステナグローススクエア TOKYO(八重洲)**
〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー35階 [JR「東京」駅 地下直結(八重洲地下街経由)、東京メトロ丸の内線「東京」駅 地下直結(八重洲地下街経由)]

お申込み期日 **銀行振込み:開催日6日前まで**
クレジットカード:開催日4日前まで
※祝日や連休により変動する場合がございます。

諸事情により、やむを得ず会場を変更する場合がございますので、会場はマイページにてご確認ください。また最少催行人数に満たない場合、中止させていただく場合がございます。尚、中止の際、交通費の払戻し手数料等のお支払いはいたしかねますので、ご了承ください。

受講料 **一般価格** 税抜 20,000円 (税込 **22,000円**) / 一名様 **会員価格** 税抜 16,000円 (税込 **17,600円**) / 一名様
●会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長onlineプレミアムプラン(旧:FUNAIメンバーズPlus)へご入会中のお客様のお申込みに適用となります。

お申込み方法 下記QRコードよりお申込みください。クレジット決済が可能です。
 または、船井総研ホームページ(www.funaisoken.co.jp)、右上検索マークからお問い合わせNo.138978を入力、検索ください。

セミナーのお申込みはこちら!

 **【QRコードからのお申込み】** 右記QRコードからお申込みください。

 **【PCからのお申込み】**
<https://www.funaisoken.co.jp/seminar/138978>
船井総研ホームページ(https://www.funaisoken.co.jp)に右上検索マークから「138978」をご入力し検索ください。



【お問い合わせ】船井総研セミナー事務局 **E-mail** seminar271@funaisoken.co.jp **TEL** 0120-964-000 (平日9:30~17:30)
※よくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索して確認ください。※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。

2026年 4月9日 木 14:00~17:00

会場 **船井総研グループ 東京本社 サステナグローススクエア TOKYO**
〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー35階 [JR「東京」駅 地下直結(八重洲地下街経由)、東京メトロ丸の内線「東京」駅 地下直結(八重洲地下街経由)]



主催 **令和8年度公共事業時流予測セミナー**

サステナグロースカンパニーをもっと。
 株式会社船井総合研究所 〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー35階

お問い合わせNo. **S138978**

当社ホームページからお申込みいただけます。(船井総研ホームページ[www.funaisoken.co.jp]右上検索マークから「お問い合わせNo.」を入力ください。) → **138978**

令和8年度、公共インフラ予算はどこへ向かうのか？

変化を予測し、“勝てる経営戦略”へ落とし込む方法とは？



特別
ゲスト
那須 基氏
(元国土交通省 室長)

公共事業を取り巻く制度や予算の変化を正しく読み解く事ができる! 特別対談スペシャル ↓

このような皆様にオススメです

- ☑ 公共インフラ予算の行方が知りたい皆様
- ☑ インフラ老朽化対策の今後が知りたい皆様
- ☑ 官民連携の波にどう乗ればいいのか分からない皆様
- ☑ ICT活用や時流対応を知りたい皆様

2025年の建設投資額は76兆円見込み (2024年度比4.1%増 ↗)

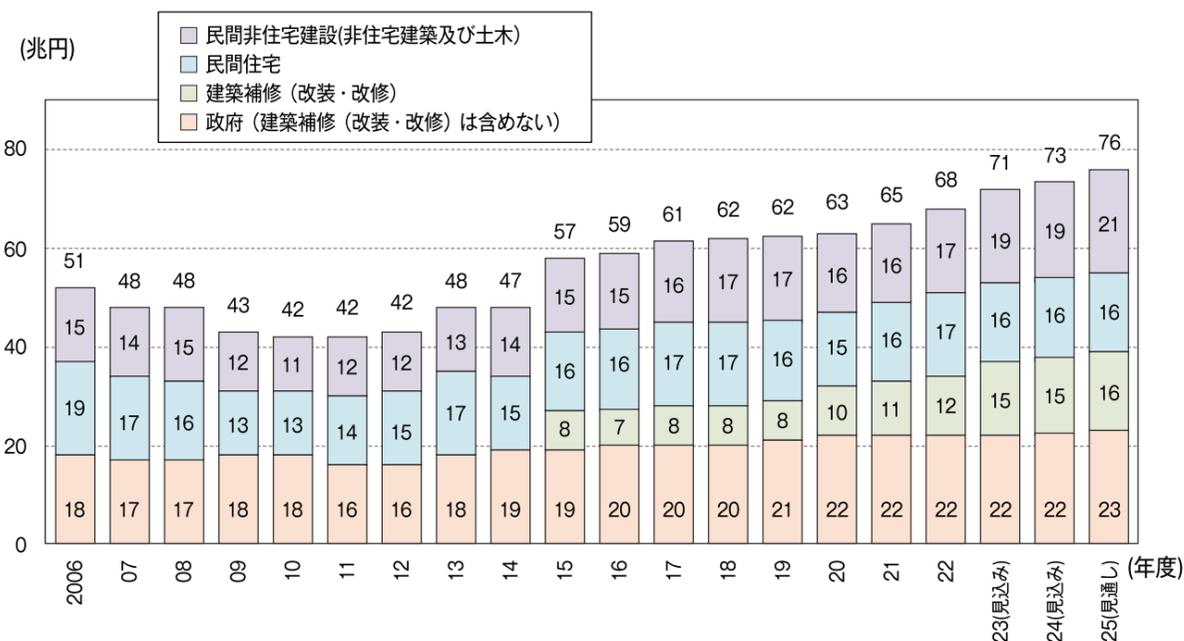


図 建設投資額(名目値)の推移

出典: 国土交通省 令和7年度(2025年度) 建設投資見通し

元国土交通省 室長が語る、令和8年度の公共インフラ政策と建設会社の未来とは



船井総合研究所
松村

本日はお忙しい中、誠にありがとうございます。早速ですが、本日は「令和8年度の時流予測」というテーマで、核心に迫るお話を伺えればと思います。



元国土交通省
室長 那須基氏

こちらこそ、よろしくお願いします。元国土交通省という立場ではありますが、あくまで私の経験に基づく「予測」としてお話しさせていただきます。



船井総合研究所
松村

「公共インフラの老朽化という深刻な課題は、裏を返せば、新たな予算編成の波を捉える事業者にとって最大のビジネスチャンスでもあります。今、経営者が押さえるべき『時流の核心』を解き明かしていきます。



元国土交通省
室長 那須基氏

今の国の動きを見ていると、建設会社の皆様が備えるべき「変化の兆し」は確実に見えています。



船井総合研究所
松村

ズバリ、令和8年度の公共事業予算において、地方の建設会社が最も注視すべきポイントは何でしょう？



元国土交通省
室長 那須基氏

一言で言えば「維持管理の質的転換」です。右のグラフが建設後50年経過する公共インフラの割合です。



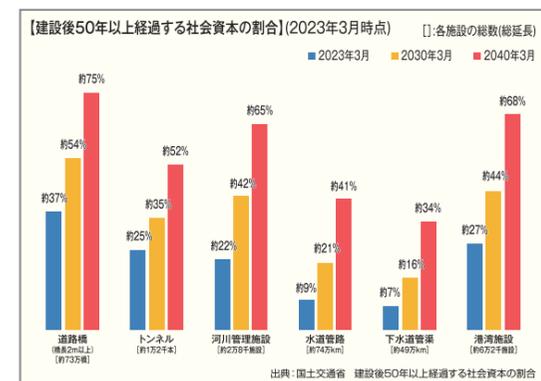
船井総合研究所
松村

「維持管理の質的転換」ですか。インフラ老朽化に補修が追い付いていないという声も聞かれますよね。



元国土交通省
室長 那須基氏

そうですね。全体的な公共事業予算は横ばいで推移すると予測されますが、その「内訳」が変わる可能性があります。



出典: 国土交通省 建設後50年以上経過する社会資本の割合

公共事業を取り巻く制度や予算の変化を正しく読み解く事ができる!特別対談スペシャル!



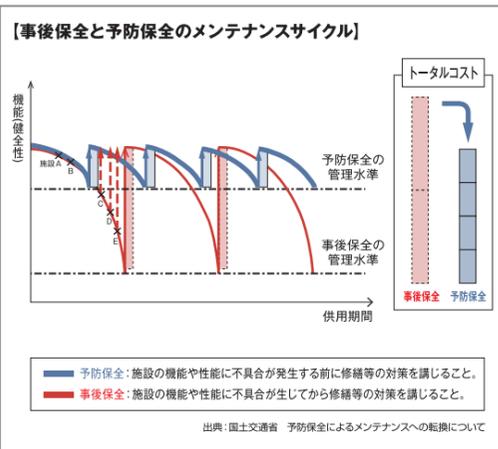
船井総合研究所
松村

具体的にはどのように変わると予測されますか。



元国土交通省
室長 那須基氏

近年の道路陥没事案を重く受け止め、国は道路・橋梁・河川などあらゆるインフラにおいて、「点検」から「早期修繕」へのシフトを急いでいます。これまでの「壊れてから直す」事後保全ではなく、「予防保全」への予算配分が増加すると予測します。



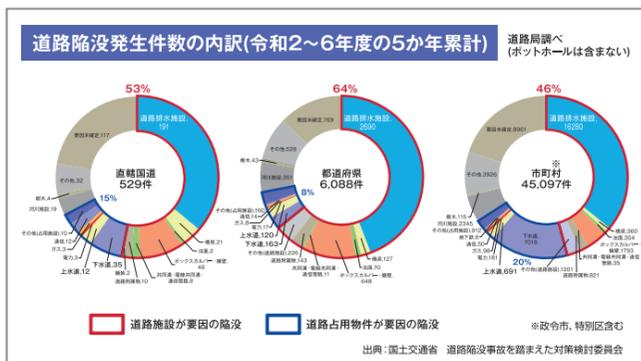
船井総合研究所
松村

高速道路のトンネル天井板落下事故の際もインフラ老化は社会問題として顕在化しましたね。



元国土交通省
室長 那須基氏

令和7年11月5日にも第9回下水道等に起因する大規模な道路陥没事故を踏まえ対策検討委員会が設置されています。このデータを見てわかるように、道路陥没自体は大小ありますが過去5年間で5万件も全国で発生しています。



船井総合研究所
松村

それは、知りませんでした。今後は、下水道だけでなく、道路や橋梁や他工種をメインとする地場ゼネコンにとっても、予防保全に伴う工事受注のチャンスが広がるということでしょうか。



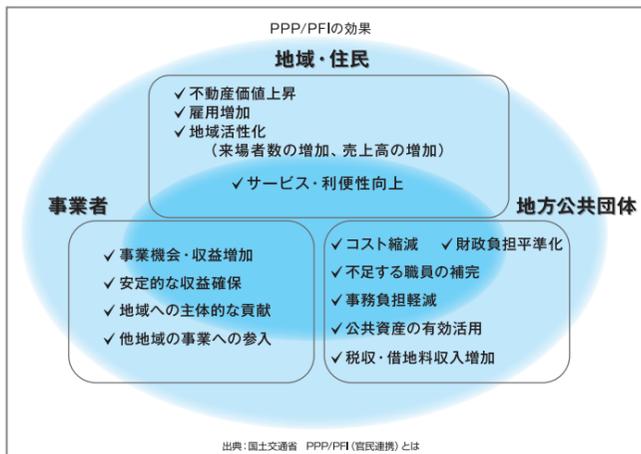
元国土交通省
室長 那須基氏

その通りです。また、官民連携や「群マネ(地域一括管理代行)」の流れを加速させようとしています。



船井総合研究所
松村

「官民連携(PPP/PFI)」や群マネは、具体的にどのような取り組みなのでしょうか。



元国土交通省
室長 那須基氏

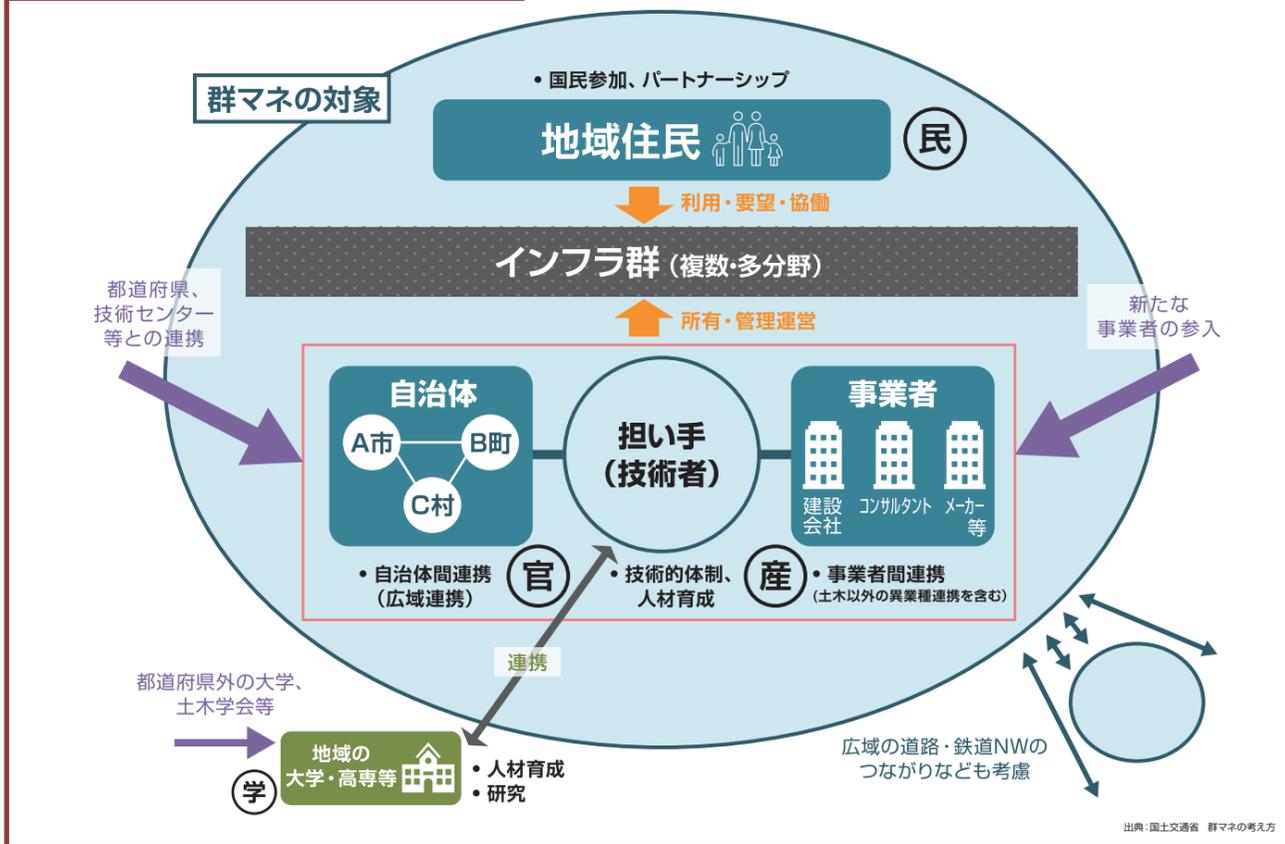
官民連携とは、国や地方公共団体などの「官(行政)」と、民間企業やNPOなどの「民」が、対等なパートナーシップを築き、互いの強みを出し合うことで、より効率的かつ質の高い公共サービスを提供する仕組みのことです。



元国土交通省
室長 那須基氏

群マネとは、「群マネジメント」の略で、複数の公共施設や道路・下水道などを地域単位で一括して民間に維持管理委託する新しい流れです。

総力戦で取り組むインフラマネジメント



船井総合研究所
松村

受講対象者の皆様からは、「官民連携(PPP/PFI)や群マネと言われても、自社にどう関係するのか見えない」という声をよく聞きます。



元国土交通省
室長 那須基氏

そこが大きな転換点です。行政側は今、個別の工事発注だけでなく、地域全体を面で捉えるマネジメントを求めています。これに対応できる体制、例えばICTの活用や、行政の意図を汲み取った提案ができる会社が、令和8年度以降の主役になっていくはずですよ。



船井総合研究所
松村

時流を「知る」だけで終わらせず、具体的にどう動くべきでしょうか？



元国土交通省
室長 那須基氏

まずは「行政が何に困っているか」という目線を持つこと。そして、自社の技術投資や人材育成がその方向性と合致しているかを見直すことです。セミナーの中では、私が行政の中にいたからこそ見える「判断基準」を、予測という形で伝えたいと思っています。

公共事業を取り巻く制度や予算の変化を正しく読み解く事ができる!特別対談スペシャル!

先読み情報を“知る”だけで終わらせない。

ここまで特別対談レポートをお読みいただき、誠にありがとうございます。
対談内でお話しできなかったワンポイントを解説いたします。

令和8年度の公共事業予測を自社の羅針盤とし、
勝てる経営シナリオとは、この時流を捉えて
「今、売上を最大化させること」に他なりません。

時流に乗って売上を伸ばすためには、
以下の戦略が不可欠です。

① 工事評点の向上 (高得点の獲得)

工事検査で80点以上の高得点を常態化させる体制を構築し、
発注者からの信頼を「数値」で証明します。

② 技術者・技能者の戦略的育成と採用

資格を持った技術者を育成・確保し、高単価な案件への
参入障壁を突破します。また、技術の伝承や仕組化を確立

③ データに基づいた入札戦略

勘や経験に頼らず、積算精度向上や総合評価対策を体系化し、
狙った案件を確実に落札する「受注の仕組み」を確立します。

最後に大事なお知らせ

今回の対談では、元国土交通省室長的那須基氏から
令和8年度の予算の行方や取り組むべきキーワードをお伺いいたしました。
ですが、これを読むだけで明日からどう取り組むべきなのか・・・
そんな疑問を解消するために、

セミナーを開催することが決定しました!
その名も

令和8年度公共事業時流予測セミナー

本セミナーでは、公共事業を取り巻く制度や予算の変化を正しく読み解き、
自社の受注戦略や人材・技術投資にどう反映させるかを具体的に解説します。
元国土交通省 室長が語る「行政側の視点」を、船井総合研究所が培ってきた
「勝てる経営戦略」へと落とし込む、ここでしか聞けない実践的な内容です。

本セミナーで学べるポイント

- ✓ **公共インフラ財政はどこへ。予算編成の行方を読み解く。**
国の財政方針や重点投資分野から、今後の公共インフラ予算の流れを分析。
建設業が取るべき戦略のヒントを解説します。
- ✓ **「官民連携」時代を勝ち抜く受注戦略**
官民連携や地方建設会社に押し寄せる地域一括管理代行(群マネ)の波。
どうすればその波に乗ることができるのか解説いたします。
- ✓ **「官民連携」で加速するインフラ整備。最新事例を公開**
国・自治体・民間が連携する官民連携(PPP/PFI)の最新動向を解説。
公共インフラ整備の成功事例と、今後の事業機会を具体的に紹介します。
- ✓ **明日から取り組むべき経営ロードマップ**
時流を“知る”だけで終わらせず、自社の5年後、10年後の安定成長に向けた
人材育成と投資の優先順位を整理してお伝えします。